

平成21年度教育研究業績書

氏名 石原 潤

最終学歴	京都大学大学院文学研究科修士課程修了・博士課程中退
取得学位	文学博士
所属学会	日本地理学会、人文地理学会、経済地理学会、歴史地理学会、東北地理学会、地理科学学会、名古屋地理学会、奈良地理学会、史学研究会、南アジア学会
現在の専門分野	人文地理学、東アジア・南アジアの地域研究
研究課題	伝統的市の研究、農産物流通の研究、農村地理学の研究、中国の人口移動の研究など
【研究上の特記事項】 1、科学研究費基盤研究（C）「中国の集市流通システムの近年における変容に関する研究」の研究代表者として、文献調査に従事するとともに、平成21年8月に中国河南省登封市及び鄭州市を訪問し、集市及び農産物卸売市場の現地調査を行った。 2、科学研究費基盤研究（A）「アジア太平洋地域の環境モニタリングに向けた地図・空中写真・気象観測資料の集成」の連携研究者として、研究に従事した。	
【教育上の特記事項】 1、大学院文学研究科地理学専攻において、特殊講義「ユーラシア地誌特論」を分担した。 2、新入生向けの人権講演会で、「インドのカースト制度と差別について」と題する講演を行った。	
【社会的活動】 1、人文地理学会協議員 2、明日香保存財団理事 3、高等教育評価機構評価委員 4、日本・ウズベキスタン国際シンポジウム「ウズベキスタンの古代文明及び宗教」で司会を務めた（平成22年2月17日、於奈良大学）	
【学内活動】（学内職歴を含む） 1、学長 2、学校法人奈良大学理事 3、奈良大学後援会顧問 4、全国高校生歴史フォーラム審査委員長	

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<p>(著書)</p> <p>「変わり行く四川」</p>	<p>編著</p>	<p>平成22年1月</p>	<p>ナカニシヤ出版</p>	<p>共同調査に基づき、四川省の社会経済的变化を論じた。</p>
<p>(学術論文)</p> <p>河南省鄭州市における蔬菜卸売市場の発展</p>	<p>単著</p>	<p>平成22年3月</p>	<p>奈良大地理、16号</p>	<p>現地調査により鄭州市の蔬菜卸売市場の変化を論じた。</p>
<p>(学会発表)</p> <p>「変わり行く四川」の概要</p>	<p>単著</p>	<p>平成22年3月</p>	<p>日本地理学会春季学術大会中国地理研究グループ集会</p>	<p>「変わり行く四川」の合評会で、本書の概要を報告した。</p>